

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	津市家庭教育支援チーム (呼称: 津家庭教育研究会) URL: https://www.tsukatei.com
②活動拠点	津家庭教育研究会 事務局
③活動範囲	主に津市内(要請により松阪市、名張市、伊勢市、伊賀市)
④組織体制	<u>17</u> 人 家庭教育講師 17 人 (うち、全日本カウンセリング協議会 有資格者 3 名)
⑤活動開始年度	<u>昭和 61</u> 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表: 山下裕子 事務局 津市安濃町太田 772-2 (TEL) 090-2752-9938 (E-mail) nikoniko.kazoku0408@icloud.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

【具体的な活動内容】

親の日常的な子どもとの関わりを通して、親子共々向上し、明るい家庭を築くこと、また、幼児・児童・青年の豊かな人間性を育てることを目的として活動しています。

① 時代に即した家庭教育の研究開発

…家庭の中での悩みの情報をキャッチし、新しいテーマの研究開発
不登校に関することやスマホの与え方、イヤイヤ期の接し方など多岐にわたる保護者の悩みがあり、子どもの思いを尊重した関わり方を提案している。

② 地域に根付いた家庭教育勉強会(公共施設利用)

…各地域月1回勉強会を実施し、個々の悩み相談も実施
保護者が子どもの長所や力を引き出し、豊かな感性を磨いていけるようテーマを設定し学びの場を提供している。

③ 講演会・研修会などへ講師派遣

…教育委員会を通じて、連続家庭教育講座や個人面談を実施
保護者が自分自身の子育てを振り返り、子どもの豊かな育ちを考えていけるよう「人間性が育つ親子のふれあい」「心にひびくほめ方・叱り方」など毎回テーマを変えて開催している。

③活動内容

<感想>

- ・子どもの立場に立って子どもが何を求めているかを考え、どうして笑顔で向き合うことが大事なのか理解できました。
- ・子どもが困難にぶつかっても乗り越えられるようにできる家庭教育をしたいです。
- ・個人面談で毎回話を聞いてもらうことで、自分の中に変化を感じました。

④ 子ども園での未就園児の会等でワンポイント講座を実施

…来園した親子とのふれあい遊びに参加

<参加者の反応>

- ・子どもを遊ばせながら短い時間でアドバイスして頂けるので助かります。
- ・未就園児の会のプログラムに入っており気負わず気軽に聞けていいです。

⑤ 個人宅への訪問活動

…不安や悩みを持つ家庭からの依頼に応じて家庭を訪問し、育児相談や情報提供などを実施

<悩みの内容>

- ・自分に余裕がなくイライラすると子どもに当たってしまい「虐待になるのでは？」と心配する。
- ・孫が可愛すぎて何でも関わってしまう祖父母の対応に悩む。
- ・発達に課題があると思われるわが子にどのように接したらよいか？ 等

<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域で月1回実施することにより、だんだん家庭教育講座への参加が広がり、母親だけでなく父親や祖父母の参加も増えている。 ・個人相談を実施することにより、一人ひとりの保護者の悩みや不安に寄り添うことで子育てに希望を持っていただくことが増えている。 ・子ども園でのワンポイント講座においては、多くの保護者が熱心に耳を傾け、日常の子育てにつなげて、子どもが豊かに育まれるよう家庭で実践している。 <p>【課題や今後に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動地域を広げ、参加者を増やしていくための啓発の手だて ・講師育成の手法の在り方 ・相談時間(1回30-60分)の設定の在り方と回数 ・未就学～中高生まで幅広く活動し、保護者に家庭教育の楽しさや喜びを感じて欲しい ・人形劇なども取り入れながら、興味を持っていただけるような活動をたくさん地域や園で実施したい
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (地域や学校関係の講師料・講演料)</p>